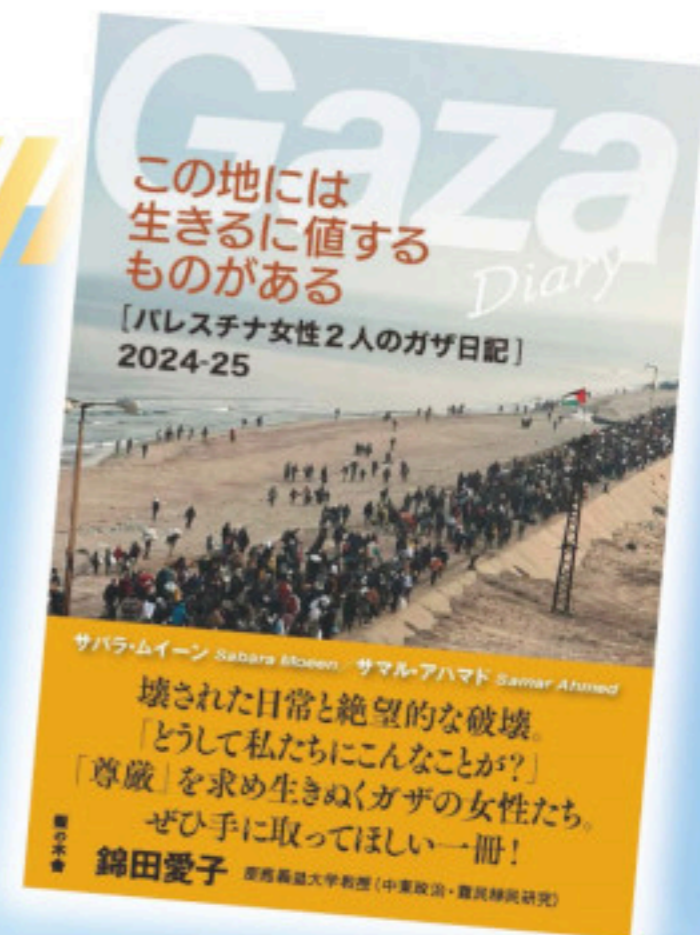


特別公開文化講座

『この地には
生きるに値する
ものがある』

—— サバラとサマルのガザ日記』出版記念



>>> スペシャル鼎談

2人のパレスチナ女性の 日記から見えてくるガザの人たち

錦田愛子 × 藤屋リカ × 古居みずえ

慶応義塾大学法学部教授

慶応義塾大学看護医療学部准教授

ジャーナリスト、映画監督

ガザにはどんな人たちが住んでいるか知っていますか？

テレビや新聞などのマスメディアでは知ることができない爆撃下で生きているガザの人々の日常、心情を綴った、サバラさんとサマルさん二人の女性の日記から見えてくるガザの人たちとは？

>>> 朗読と演奏

- 日記朗読 岡戸良子 (古居みずえ支援の会代表)
 - カーヌーン(アラブの琴)演奏 ヤスミン植月千春
- 予定曲目：ニハヴァンド ミニミニ、ロンガ・ファラハファザ、春の海 他



2026 4.25 (土) 13:00~15:00 (開場 12:30)

どなたでもご参加
いただけます!

入場無料

会場：東京ジャーミイ

新館地下1階エルトゥールル講堂

東京都渋谷区大山町1-19

- 小田急線代々木上原駅西口から徒歩5分
(新館はモスクの奥隣の建物です)



申込み：不要 直接会場にお越しください

問合せ：古居みずえ支援の会 mizshien@gmail.com 電話 090-7408-5126

主催 宗教法人東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター <https://tokyocamii.org/ja/>

共催 古居みずえ支援の会 <https://support-miz.thyme.jp>



『この地には 生きるに値するものがある』

—— サバラとサマルのガザ日記 』

「私にとって教育を受けることは単なる選択肢の一つではありません。戦争が私の夢を奪い、前に進もうとする私を阻めないことを証明するための闘いなのです。戦争は多くのものを私から奪ったけれど、学ぶという夢だけは決して奪わせない」(サバラの日記より)

「母親である私にとって、そしてガザのすべての母親にとって、度重なる戦争と完全に麻痺した生活のなかで子どもを育てるのは大変なことです。ガザでは、悲しみ、破壊、痛み、抑圧を除いて、すべてが止まってしまいました。でも母親として前に進まなければならないのです。私は一日を始めるためにベッドから起き上がり、家族の朝食を用意するためにバルコニーで火を起こすのです」(サマルの日記より)

四六判

定価 2,300円+税

発行：梨の木舎

>>> 出演者プロフィール



錦田愛子

慶應義塾大学法学部教授。パレスチナ/イスラエル紛争を中心とする現代中東政治、移民/難民研究が専門。2003年以降、ヨルダン、レバノン、イスラエル、パレスチナ自治区などでパレスチナ難民から聞き取り調査を行う。朝日新聞デジタルおよびYahoo!ニュースのコメンテーター、NGO「パレスチナ学生基金」理事。近著に『パレスチナ/イスラエルを読み解く』(えにし書房、2025年)など。



藤屋リカ

慶應義塾大学看護医療学部准教授。広島市で保健師として勤務後、NGO駐在員としてパレスチナ母子保健事業に携わり、2002年にJVCパレスチナ緊急医療支援に参加、04年からJVCでパレスチナ事業による子どもの栄養改善、保健、収入創出等を担当した。11年より大学教員、専門はグローバルヘルス。パレスチナでの青少年のヘルスリテラシーに関する研究などに取り組んでいる。



古居みずえ

ジャーナリスト、映画監督。アジアプレス・インターナショナル所属。1988年より紛争下における中東パレスチナで、とりわけ女性や子どもたちに焦点を当てて取材をおこなう。著書に『パレスチナ 戦火の中の子どもたち』(2015年岩波書店)、『飯館村の母ちゃんたち』(2023年彩流社)など。映画監督作品に『ガーダ パレスチナの詩』(2006年)、『ぼくたちは見た—ガザ・サムニ家の子どもたち』(2011年)『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』(2016年)、『飯館村 ベこやの母ちゃん—それぞれの選択』(2022年)がある。

ヤスミン植月千春 カーヌーン(アラブの琴)演奏

京都市立芸術大学音楽科卒業後、ザルツブルグに留学。ラウンジピアニストとして、京都、サンフランシスコ、ベルギー、シンガポール、東京で活動。トルコでターヒル・アイドードュ、チュニアアでジャミル・アビドにカーヌーンの演奏法と理論を学ぶ。イラク戦争時、バグダードから発信されたりバーバンドブログの出版に翻訳メンバーとして関わる。CDに「カーヌーンソロ・ヤスミン」「Children In IRAQ /イラクの子どもたち」などがある。



古居みずえ支援の会

公式 SNS



フォローお願いいたします!



SUPPORT.MIZ